

呉工業高等専門学校報

目 次

卒業式式辞	1948 頁
学内規則	1949 頁
人事異動	1949 頁
諸報	1950 頁
○ 平成22年度卒業式及び専攻科修了式	
○ 独立行政法人科学技術振興機構「研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)」公募説明会	
○ 呉地域オープンカレッジネットワーク会議	
○ 公開講座	
○ 知的財産セミナー	
○ 急傾斜地用ストレッチャー製品化キックオフミーティング	
○ 電気情報工学科教育シンポジウム	
○ 呉高専学内教育シンポジウム	
○ 永年勤続者表彰	
○ 平成22年度図書統計	
○ 平成23年3月(第43回)卒業生の進路状況	
○ 平成22年度卒業研究題目一覧	
○ 平成22年度専攻科特別研究題目一覧	
○ 平成22年度技術センター技術発表会	
行事日誌	1961 頁
○ 2月行事日誌	
○ 3月行事日誌	

卒業式式辞

平成 23 年 3 月 18 日

校長 遠藤 一太

式辞を申し述べる前に、この度の「東北地方太平洋沖地震」で被災された方あるいはご関係の方に、心よりお見舞い申し上げます。

式辞

花薫る今日の佳き日 ここに呉工業高等専門学校平成 22 年度卒業式及び専攻科修了式を挙げることは、私どもにとって真に大きな慶びとするところ

であります。

本日は広島大学大学院工学研究科長様をはじめ、多数のご来賓をお迎えしております。ご来賓の皆様には、ご多忙の中、ご列席くださいましたことを感謝するとともに、地域連携を重視した本校の教育活動へのご理解とご支援に対しまして厚くお礼申し上げます。

卒業生及び修了生の諸君、そして、保護者の皆様、御卒業及び修了おめでとうございます。

本年度の本科卒業生は、機械工学科 38 名、電気情報工学科 42 名、環境都市工学科 36 名、建築学科 42 名、合計 158 名であります。専攻科では、機械電気工学専攻 15 名、建設工学専攻 12 名、合計 27 名が修了生となり、日本技術者教育認定機構の教育プログラムを終え技術士第一次試験通過と同等とみなされる者は 25 名であります。また、留学生として、マレーシアからのアミルル君、ベトナムからのチエン君が本校を巣立ちます。

本校を卒業した後、25 名が専攻科へ進学します。更に 25 名が四年制大学へ編入学いたします。また、専攻科修了生のうち 6 名が更に上の高等教育機関である大学院に進学いたします。就職する者、進学する者、明日からそれぞれ違った道を歩むこととなります。

諸君の門出にあたり、一言申し添えます。

諸君は中学校卒業後、直ちに大学教育に相当する高等教育機関である本校に入学し、技術者教育を受ける道を選択しました。そして、多くの高校生に一步先じて専門的な学問に触れ、また、学問が社会でどのように生かされていくのかということも体験を交えつつ学んできました。短期間で多くのことを学ぶ高専流の勉強はかなり厳しかったのではないかと思います。それだけに、本日ここに無事卒業を迎えた諸君の顔からは大きな達成感と自信が生まれていると感じ取ることができます。本当におめでとうございます。

さて、学生は、先人の知恵のエッセンスを受け継ぐことだけでなく、更に、新しい知を生み出してそれを社会に生かすための力を獲得する義務を負って

います。卒業式は、諸君が所定の勉強を終え、準学士称号や学士号にふさわしい学習成果をあげたことの証明、すなわち **Graduation** であり、また、同時に新たな出発 **Commencement** でもあります。就職先や進学先が決まれば、それで終わりという訳ではありません。人間は日々学び新たな知恵を獲得します。

昨日より今日、今日より明日が良くなるよう行動することが自らの幸福感を生み出します。君たち一人ひとりが力を発揮して充実した人生を送ること、世界の人々が目指す幸福実現の方向とに矛盾があってはなりません。技術者教育を受けた本校卒業生諸君は、持続発展可能な平和な世界を実現するという高い理想をもって、仕事及び継続的な勉学に取り組んでほしいと思います。そして、時として本校の教育理念の 3 項目「豊かな教養と国際性」「未知なるものの創造と実行力」「人類の福祉と平和」を思い起こしてください。

諸君の入学以後のこの 5 年あるいは 7 年の間には、世界的大企業の経営破綻、エジプト大統領の辞任など、大きな変化が予想を超えたスピードでおこりました。人間社会も個人も絶えず変化することで命を保っています。卒業生諸君は変化を恐れることなく、むしろ自分の力を発揮するチャンスと捉えてくださ

い。しなやかに、したたかに、成功も失敗もよく味わいながら生きていく魅力的な人間であってほしいと思います。

本校における厳しい評価基準をクリアーして、ここに卒業・修了を迎えることができた諸君には十分な工学基礎力がついています。また、在学中に経験した研究活動やインターンシップ、国際研修旅行、クラブ活動などを通じて、色々な人と知り合いになり、多様な価値観を尊重することや、コミュニケーションの大切さも学びました。個人では達成できない大きな目標に向かってチームが一丸となって取り組む喜びも経験したことでしょう。本校で築き上げた友人関係を大切に、自信と誇りをもって夫々の道に進んでください。

諸君の輝かしい人生を祈念して、式辞といたします。

学 内 規 則

- 平成 23 年 3 月 10 日 制定
呉工業高等専門学校 e-ラーニング推進委員会規則
- 平成 23 年 3 月 10 日 一部改正
呉工業高等専門学校学則
呉工業高等専門学校教務規則

人 事 異 動

(教 員)

発令年月日	異動後の職名等	氏 名	異動前の職名等
23. 3. 31	定年退職	小 堀 慈 久	呉工業高等専門学校教授 (環境都市工学分野)
〃	〃	野 原 稔	呉工業高等専門学校准教授 (機械工学分野)
〃	〃	門 前 勝 明	呉工業高等専門学校准教授 (建築学分野)
〃	辞職	江 口 誠	呉工業高等専門学校准教授 (人文社会系分野)
〃	〃	原 本 博 史	呉工業高等専門学校准教授 (自然科学系分野)

(職 員)

発令年月日	異動後の職名等	氏 名	異動前の職名等
23. 3. 1	技術センター技術職員	辻 梨 沙	弓削商船高等専門学校 技術支援センター技術職員
23. 3. 31	定年退職	町 田 勝 吉	学生課学術情報係長

諸 報

○ 平成 22 年度卒業式及び専攻科修了式

3 月 18 日（金）午前 10 時から本校第一体育館において、来賓及び保護者のご臨席のもと、第 43 回卒業式及び第 13 回専攻科修了式が盛大に挙行された。卒業生及び専攻科修了生は、校長から卒業証書又は修了証書を授与され、JABEE 認定技術者教育プログラム修了者には、同修了証書が授与された。広島大学大学院工学研究科長及び後援会会長からご祝辞を、また、国立高等専門学校機構理事長をはじめとする各方面から多数のご祝電等をいただき、来賓、保護者、教職員及び在学生の祝福と激励を受けて呉工業高等専門学校を巣立っていった。

なお、卒業生及び専攻科修了生の学科（専攻）別内訳は次のとおりである。

学科（専攻）名		卒業（修了）者数
本 科	機 械 工 学 科	38 （ 0 ）
	電 気 情 報 工 学 科	42 （ 3 ）
	環 境 都 市 工 学 科	36 （ 8 ）
	建 築 学 科	42 （16）
	計	158 （27）
専 攻 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	15 （ 0 ）
	建 設 工 学 専 攻	12 （ 1 ）
	計	27 （ 1 ）

注）（ ）内の数字は、内数で女子を示す。

○ 独立行政法人科学技術振興機構「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）」公募説明会

期 日 3 月 1 日（火）

対 象 教員

場 所 管理棟 3 階 第一会議室

講 師 独立行政法人科学技術振興機構イノベーションプラザ広島

○ 呉地域オープンカレッジネットワーク会議 ・地域活性化研究報告会・第 3 回プロジェクト委員会

期 日 3 月 3 日（木）

場 所 呉市つばき会館

○ 公開講座

・「楽しい電子工作入門」

期 日 3 月 5 日（土）

対 象 小学校 5 年生以上

場 所 電気情報工学科棟 1 階
情報処理演習室

講 師 電気情報工学分野 板東 能生

○ 知的財産セミナー

1. 第 1 回「特許電子図書館検索セミナー」

期 日 3 月 4 日（金）

対 象 教職員・一般

場 所 電気情報工学科棟 1 階
情報処理演習室

講 師 広島県知的所有権センター

2. 第 2 回「パテントマップ演習」

期 日 3 月 17 日（木）

対 象 教職員・学生・一般

場 所 電気情報工学科棟 1 階
情報処理演習室

講 師 呉高専特命教授
知財教育・地域連携アドバイザー
楠田 和身

○ 急傾斜地用ストレッチャー製品化キックオフ ミーティング

期 日 3 月 16 日（水）

対 象 一般

場 所 広島文化学園大学
呉 阿賀キャンパス

○ 電気情報工学科教育シンポジウム

期 日 3 月 10 日（木）

対 象 教職員・学生・一般

場 所 図書館棟 1 階 視聴覚教室

○ 呉高専学内教育シンポジウム

期 日 3 月 30 日（水）

対 象 教職員

場 所 管理棟 3 階 第一会議室

○ 呉工業高等専門学校永年勤続者表彰及び名誉教授称号授与

期 日 平成 23 年 3 月 31 日（木）

場 所 校長室

氏 名 小堀 慈久

○ 平成 22 年度図書統計

1 利用 (開館日数 279 日)

利用冊数・人数 (上段;冊数 下段;人数)

区分 学年	機 工	械 学	電 工	気 学	情 科	報 工	環 工	境 学	都 科	市 学	建 学	学 科	機 工	械 学	電 工	気 学	建 工	設 学	工 攻	学 攻	合 計
1 年	84	45	71	41	206	105	56	33													417
2 年	87	41	232	137	279	149	56	128													726
3 年	241	106	330	175	53	41	227	145													851
4 年	155	86	197	117	89	55	305	190													746
5 年	84	57	607	319	267	164	183	116													1,141
専攻 1 年													122	58			145	47			267
専攻 2 年													55	28			109	53			164
学生計	651	335	1,437	789	894	514	899	540					177	86			254	100			4,312
教員																					213
職員																					93
学外者																					348
合計																					173
																					184
																					88
																					5,057
																					2,718

入館者数

合計	30,964
----	--------

2 蔵書

分類 区分	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計	
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学		
図 書	和書	6,091	4,042	7,988	10,691	12,787	23,125	1,018	3,446	3,794	12,588	85,570
	洋書	738	693	225	408	1,355	1,960	29	99	2,653	1,716	9,876
	計	6,829	4,735	8,213	11,099	14,142	25,085	1,047	3,545	6,447	14,304	95,446

所蔵雑誌種類数

国内雑誌	1,058 種
外国雑誌	289 種

3 平成 22 年度文献複写依頼統計

区分	ILL		JST	国立国会図書館		その他	合計
	電子式	マイクロ		電子式	マイクロ		
件数	89	3	5	14	28	0	【101】 139
枚数	531	3	59	37	33	0	【690】 663

※【 】内は昨年度の合計を表す。

4 平成 22 年度相互貸借

区分	依頼	受付
件数	4	0

○ 平成 23 年 3 月 (第 43 回) 卒業生の進路状況

1 卒業生数及び就職・進学状況

学科・専攻		卒業生数			就職者数			進学者数			その他		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
本科	機械工学科	38		38	26		26	11		11	1		1
	電気情報工学科	39	3	42	24	3	27	14		14	1		1
	環境都市工学科	28	8	36	19	6	25	9	2	11			
	建築学科	26	16	42	18	9	27	8	6	14		1	1
	計	131	27	158	87	18	105	42	8	50	2	1	3
専攻科	機械電気工学専攻	15		15	12		12	2		2	1		1
	建設工学専攻	11	1	12	5	1	6	4		4	2		2
	計	26	1	27	17	1	18	6		6	3		3

2 大学編入者等状況

学科	編入学等希望者数			大学編入者数									高専専攻科入学者数			編入学等未決定者			その他		
				3 年次編入者数			2 年次編入者数			計											
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
機械工学科	11		11	5		5			5		5	6		6							
電気情報工学科	14		14	6		6			6		6	8		8							
環境都市工学科	9	2	11	4	2	6			4	2	6	5		5							
建築学科	8	6	14	5	3	8			5	3	8	3	3	6							
計	42	8	50	20	5	25			20	5	25	22	3	25							

3 大学編入者等状況

出身学科		編入者数														1 年次入学者数					その他				
		3 年次編入者数				2 年次編入者数				計						計					計				
		機	電	環	建	機	電	環	建	機	電	環	建	計	機	電	環	建	計	機	電	環	建	計	
国立	北海道大学			1									1		1										
	千葉大学	1			1					1			1	2											
	東京工業大学		1								1			1											
	電気通信大学		1								1			1											
	豊橋技術科学大学	2	1	1	1					2	1	1	1	5											
	名古屋工業大学			1								1		1											
	三重大学			1								1		1											
	大阪大学		1	1	1						1	1	1	3											
	広島大学	1	1		3					1	1		3	5											
	山口大学				1								1	1											
	愛媛大学		1	1							1	1		2											
	熊本大学	1									1			1											
	公立	北九州市立大学				1							1	1											
呉工業高等専門学校													6	7	5	6	24								
高専	広島商船高等専門学校												1			1									
	計	5	6	6	8					5	6	6	8	25	6	8	5	6	25						

4 大学編入者等状況

学科・専攻	区 分	就職希望者 A			求人数 B	就職者数 C			求人倍率 B/A	就職率 C/A×100		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計
		本 科	機 械 工 学 科	26		26	422	26		26	16.2	100
電 気 情 報 工 学 科	24		3	27	457	24	3	27	16.9	100	100	100
環 境 都 市 工 学 科	19		6	25	201	19	6	25	8.0	100	100	100
建 築 学 科	18		9	27	207	18	9	27	7.7	100	100	100
計	87		18	105	1287	87	18	105	12.3	100	100	100
専 攻 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	12		12	411	12		12	26.6	100		100
	建 設 工 学 専 攻	5	1	6	210	5	1	6	27.0	100	100	100
	計	17	1	18	621	17	1	18	26.7	100	100	100

5 事業所の規模別就職状況

学科・専攻	区 分	就職者			従業員 500人以上の 事業所			従業員 100~499人の 事業所			従業員 100人未満の 事業所			官公庁・公団			海外企業			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
		本 科	機 械 工 学 科	26		26	23		23	3		3								
電 気 情 報 工 学 科	24		3	27	16	3	19	6		6	2		2							
環 境 都 市 工 学 科	19		6	25	16	5	21	2		2	1	1	2							
建 築 学 科	18		9	27	12	3	15	3	2	5	3	4	7							
計	87		18	105	67	11	78	14	2	16	6	5	11							
専 攻 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	12		12	10		10	1		1	1		1							
	建 設 工 学 専 攻	5	1	6	4		4	1		1		1	1							
	計	17	1	18	14		14	2		2	1	1	2							

6 産業別就職状況

学科・専攻	区 分	建 設 業	製 造 業										電 気 ・ ガ ス ・ 水 道	情 報 通 信	運 輸	医 療 業 ・ 保 健 衛 生	教 育 ・ 学 習 支 援	サ ー ビ ス	官 公 庁 ・ 公 団	就 職 者 計
			食 品	化 学 工 業	金 属 製 品	一 般 機 械 器 具	電 気 ・ 情 報 機 械 器 具	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	輸 送 用 機 械 器 具	精 密 機 械 器 具	そ の 計									
											他	計								
本 科	機 械 工 学 科	38	4	3		8		2		2	19	6		1						26
	電 気 情 報 工 学 科	42	2	2		7		1		1	11	7	3					4		27
	環 境 都 市 工 学 科	36	11			2				1	3	6		3				2		25
	建 築 学 科	42	19	1		2					3	1		2				2		27
	計	158	32	4	6	19		3		4	36	20	3	6				8		105
専 攻 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	15	2		1	4	1	3		1	10									12
	建 設 工 学 専 攻	12	3		1						1							2		6
	計	27	5		1	4	1	3		1	11							2		18

○ 平成 22 年度卒業研究題目一覧

機械工学科

卒業研究題目	指導教員	学生氏名
コルヌ歯形歯車の振動騒音特性	河野正来	有田勝裕
		佐藤智幸
		水野駿
二円筒試験における繰返し数の増加に伴う摩擦面の変化	河野正来	池田圭介
		森川健太
ナノ粒子の耐熱性評価に関する研究	吉村敏彦	岡本光由
メカノケミカルキャビテーション噴流によるバラスト水浄化に関する研究		元石道人
多孔質内強制対流における速度・濃度場の画像解析	高津康幸	川上浩史
多孔質内気液二相流に関する研究		緑大介
植物油の摩耗特性に及ぼす酸化の影響	中迫正一	岡田芳郎
植物油の耐焼付き性能に及ぼす酸化の影響		菊本淳
		木原雄太
シーソー式選別機構を有する缶プレス機の開発	野原稔	安田光希
ステレオカメラを利用したリアルタイム画像処理プログラムの開発		下瀬将弘
		中島悟
エマルジョン燃料の燃焼特性に関する研究	河口勇治	石井俊英
エジェクターに関する研究		松本篤典
		浦田稔
視覚障害者歩行支援のための超音波メガネにおける対象物認識性能	岩本英久	小島裕一
		野上敦史
魚類の遊泳法を応用した尾ひれ推進装置の研究	野村高広	平田力丸
		上野健太
「尾ひれ推進船」教材の基本性能	野村高広	木村圭宏
人工筋肉を用いたロボットアームの製作	山田祐士	石原知弥
介護用車椅子の開発		船本僚司
		江口修平
		川村翔一
	山田祐士	飯田翔

担任業務軽減を目的としたメールアドレス管理ソフトウェア開発	上 寺 哲 也	金 谷 暢 哉
ガス小売業務ソフトウェアの開発		田 中 星 也
大型建造物の断面形状最適化に関する研究		藤 村 義
時空の歪みを可視化する学習用教材の開発	深 澤 謙 次	岩 佐 龍 太 郎
一般相対性理論に関する教材開発		大 室 佑 介
		大 西 健 太
力学基本教育に関する教材開発	林 和 彦	後 藤 芳 貴
		森 井 信 寛
宇宙線ミュー粒子観測実験装置の開発研究	笠 井 聖 二	ア ミ ル ル
		竹 口 翔 太

電気情報工学科

卒業研究題目	指導教員	学生氏名
遷移金属を含む物質系の電子状態	植 田 義 文	大 谷 祐 介
III-V 族化合物半導体の電子状態		富 永 健 太
Skutterudite 型結晶の電子状態		富 山 貴 大
ビスマスカルコゲナイドの機能と電子状態		二 武 風 見 香
炭素ナノ物質の電子状態		橋 本 勇 輝
音響解析信号の基礎研究	野 村 博 昭	上 田 晃
ヘッドホンを用いた音像定位システムに関する研究		小 川 美 里
		梶 田 尚
ミリ波帯画像伝送用信号処理回路に関する研究	黒 木 太 司	田 和 瀬 裕 之
60GHz 帯 NRD ガイドパルスレーダにおける速度検知に関する研究		石 野 夕 貴
ミリ波帯低損失線路の構成法に関する研究		一 瀬 健 人
自己注入同期発振器の動作原理解明に関する研究		沖 田 靖 能
60GHz 帯平面アンテナ用一次放射器の反射特性改善に関する研究		田 中 智 大
XNA によるゲームプログラムの試作	田 中 誠	森 田 智 紀
Android アプリケーションの開発		松 原 拓 也
イオン光学シミュレータの開発		チ エ ン
イオン光学シミュレータ用 3D データ入力ソフトの開発		山 本 哲 也
X 線非破壊検査装置の試作		若 林 崇 裕
		堀 池 尚 孝

水グロー放電の電気特性の測定	山 崎 勉	三 石 昇 汰
水放電プラズマの発光分光診断		森 中 純
交流理論実験教材の開発	藤 井 敏 則	坂 元 哲 也
e ラーニングによる教育支援システムの構築に関する研究		佐 野 達 郎
SMES による負荷電力変動抑制法に関する研究		藤 井 達 也
Matlab を用いた工学実験の開発に関する研究		志 田 原 佑 貴
交流理論実験教材の開発 (実験キットの試作)		竹 下 将 平
全員購入を前提としたマイコン実験教材の開発	横 沼 実 雄	大 坪 嵩
倒立振り子ロボットを用いた制御実験教材の開発		桑 田 和 馬
振動発電によるマイコン駆動に関する研究		菅 原 雅 也
廃棄物炭化処理の基礎研究		寺 崎 智 也
ハーマン法による熱電特性測定の精度評価	板 東 能 生	石 田 政 義
ペルティエ冷凍機の試作		近 江 隼 人
HV 車載電池の特性評価		杉 野 卓 志
波力発電装置の試作		舩 本 華
自己増殖型ニューラルネットを用いたパターン認識に関する研究		山 内 健 太
自己組織化ニューラル木立を用いた効率的なパターン認識に関する研究	井 上 浩 孝	鵜 川 翔 平
統計解析言語 R を用いた効率的なデータ解析		坂 井 智 哉
ニューラルネットワークを用いた関数近似に関する研究		田 中 諒
進化的プログラミングの有効性に関する研究		山 崎 翔 悟
宇宙線による非破壊検査の基礎的研究	笠 井 聖 二	吉 田 剛 志
方言データベースの開発 ー医療福祉と外国人に向けてー	岩 城 裕 之	坂 井 優 太
		花 中 真 也

環境都市工学科

卒業研究題目	指導教員	学生氏名
平成 22 年 3 月岩盤斜面崩壊の工学的特性 ー坂町 JR 呉線斜面の場合ー	小 堀 慈 久	木 村 康 太
平成 22 年 7 月緩傾斜地崩壊の力学的特性 ー広島県庄原市の場合ー		中 本 里 菜
まさ土斜面崩壊地の物理的, 工学的比較研究		鎗 分 優 成

曲げを受ける柱の終局強度について	中野 修 治	隠 地 真 悟
		松 本 忠 祐
曲げ, せん断そしてねじりを受ける両端固定ばりの終局荷重について		田 島 啓
		脇 岡 宏 行
不攪乱自然堆積粘土の圧密に伴うせん断剛性の変化に関する研究	森 脇 武 夫	金 森 悠
自然堆積粘土の透水係数と強度・変形特性の異方性に関する研究		品 本 淳 也
廃棄物処分場粘土ライナーの遮水機能に及ぼす打設基礎杭の先端形状と圧密圧力の影響		山 本 悠 貴
森林に湿性降下する微小動物調査	竹 内 準 一	井 上 雄 太
都市排水調整池の水質・生物環境		大 藤 恭 平
水生無脊椎動物の消化管フローラ		鈴 藤 真 也
ウバメガシ自然群落に関する野外調査		濱 岡 麻 美
ポリスチレン分解遺伝子の大腸菌発現と分解能分析	及 川 栄 作	上 河 内 契
		柴 優 太
においバイオセンサーによる 30 種類のにおい物質一斉検出と識別への応用		久 保 綾 香
根粒菌 Mesorhizobium と Bradyrhizobium 培養液の酸化還元電位の変動比較		下 田 直
ディスクカッタービット摩耗検知システムの開発のための基礎的研究	重 松 尚 久	出 雲 力 斗
端面掘削方式を用いた多段型掘削機の開発に関する研究		中 尾 隆 透
広島県内市道・町道の橋梁維持管理に関する調査	河 村 進 一	岡 良 亮
動画画像解析による車両走行位置と速度の検出		金 田 智 一 郎
金属イオン電解溶出を用いた水質浄化方法に関する実験的検討	黒 川 岳 司	新 井 翔 子
噴流型流動促進装置が導入された貯水池内の流況解析		平 原 裕
噴流型流動促進装置の吸引および噴流性能の向上に関する実験的検討		堀 本 遥
生活道路における原動機付自転車と自動二輪車の走行速度抑制効果に関する基礎的研究	山 岡 俊 一	桑 原 智 実
斜面住宅地居住者の防災意識とコミュニケーションによる防災教育に関する研究		杉 本 篤 恒
住民が主体となったコミュニティ道路の維持管理に関する研究		原 明 世
牡蠣殻を全量使用した植生基盤材料の緑化性能に関する研究	堀 口 至	内 田 拓 未
		目 片 雄 土
低濃度硫酸環境下における PFBC 灰硬化体の耐硫酸性に関する研究		柏 原 康 平
		数 実 浩 佑

無機系防錆接着剤を用いた鋼・コンクリート合成床版の底鋼板剥離に関する実験的検討	三 村 陽 一	岡 本 未 歩
一軸引張実験による若材齢フライアッシュコンクリートと異型鉄筋の局部付着応力-すべり関係		柏 原 健 太
暑中環境下における若材齢フライアッシュコンクリートの引張特性		沖 本 翔 平
		渡 辺 亘 司

建築学科

卒業研究題目	指導教員	学生氏名
既存 RC 構造物のひび割れ調査および評価と高強度 RC 梁の曲げ性能実験	寺 岡 勝	沖 広 昌 志
既存構造物の不同沈下調査および評価と低強度 RC 耐震壁のせん断実験		平 畑 嘉 鷹
こどもと建築と大人 こどもと親・大人の関係を見つめ直す施設	篠 部 裕	酒 井 敦 志
ku-haku		津 崎 規 輝
建築骨組の地震時における応力変動に関する研究	泉 洋 輔	石 山 祐 妃
表層地盤の大地震時における増幅特性に関する研究		吉 見 直 美
建築骨組の地震時における応力変動に関する研究		有 田 薫
火葬場の設計		熊 田 健 一
坂のまち～呉をつかまえる宿泊施設～	西 宮 善 幸	田 内 祐 樹
生物多様性のための海洋環境教育施設『Oceans』の提案		中 川 祥 太
地域の顔となる駅を目指して～JR 呉線安登駅～		高 橋 克 弥
呉高専に建つ図書館の提案		宇 田 祐 子
はなれたつながり～高齢者のための集合住宅の設計～		加 藤 樹
2004 年新潟中越地震・2007 年能登半島地震における工学的基盤への入力地震波の特徴	門 前 勝 明	鎌 田 隆 広
徴 2004 年新潟中越地震・2007 年能登半島地震における地表面での地震波の特		寺 本 絵 美
引抜成形 GFRP と鋼ガセットを用いた合成構造接合部実験		平 田 将 丈
ガラス繊維による RC 部材の簡便な耐震補強法の開発	松 野 一 成	藤 原 知 也
		金 光 桂
		山 本 悠 貴
		松 本 大 亮
		丸 永 大 地
		金 子 紘 幸
		芥 藤 詩 織

ガラス繊維コ型プレート定着長さが RC 部材の付着割裂強度に与える影響	松 野 一 成	佐 藤 良 太
FRP 補強による RC 部材の付着割裂強度増大効果		友 宗 良 太
エコビレッジでつくる Sustainable Community	佐 々 木 伸 子	釜 床 あ ゆ み
高齢者向け優良賃貸住宅の安定供給要因に関する研究		竹 河 内 遥 香
無縁化社会を防ぐ空間的仕掛けの提案		野 田 紗 緒 里
呉地域の住宅内部での居住者の休息姿勢に関する調査研究	大 和 義 昭	山 崎 恒
HANA mus.	富 田 英 夫	崎 谷 果 代
ミース指導によるバウハウスの学生作品の研究 ―コートハウスの特性分析―		末 重 麻 衣
Junction		西 尾 萌
Waving		船 本 綾 香
呉高専建築学科棟の床面の傾きについて	仁 保 裕	奥 伸 之
		小 島 敬 司
呉高専建築学科棟の常時微動計測		國 生 尚 志
		平 田 悠 孝
		安 田 祥 子
NOMADE	下 倉 玲 子	泉 璃 依
新旧広島市民球場の計画の比較と新球場の課題		田 中 順 也
ブティック路面店における建物のファサードデザイン		中 村 美 穂
利用されなくなった建物の活用と廃屋の実態		平 岡 里 奈 子

○ 平成 22 年度専攻科特別研究題目一覧

機械電気工学専攻

(機 械 系)

特 別 研 究 題 目	指 導 教 員	学 生 氏 名
ソレノイドを利用した尾ひれ推進船の試作と尾ひれ周期に関する泳動特性	野 村 高 広	川 上 遼
反射高速電子回折を用いた表面構造研究	林 和 彦	川 口 玄 太
ソレノイドを利用した尾ひれ推進船の試作と尾ひれ形状に関する泳動特性	野 村 高 広	川 口 翔 太
回転量計測システムを用いた簡易固定具のノブ形状評価に関する研究	岩 本 英 久	小 林 翔
エジェクターに関する研究	河 口 勇 治	品 川 友 治
メカノケミカルキャビテーション噴流によるバラスト水浄化技術の開発	吉 村 敏 彦	瀬 尾 翼
植物油の摩耗特性に及ぼす酸化の影響	中 迫 正 一	原 垣 内 慎 太 郎

(電 気 系)

特 別 研 究 題 目	指 導 教 員	学 生 氏 名
超音波エコーを用いた視覚障害者用歩行支援器の開発	横 沼 実 雄	加 藤 紀 之
ミリ波帯低価格プリント集積フィルタに関する研究	黒 木 太 司	川 頭 弘 幸
高周波発振器の数値的 Q ファクタ解析に関する研究	黒 木 太 司	竹 田 慎 平
ミリ波帯高効率平面アンテナの研究	黒 木 太 司	中 村 元 紀
J 字形モノポールアレイアンテナの等価回路表示に関する研究	黒 木 太 司	西 村 高 征
自己生成ニューラルネットワークを用いたアンサンブル学習法に関する研究	井 上 浩 孝	松 林 真 司
高周波インバータ応用を目的とした単相ソフトスイッチング PFC コンバータの研究	横 沼 実 雄	吉 村 悠

建設工学専攻

(環境都市系)

特 別 研 究 題 目	指 導 教 員	学 生 氏 名
貯水池に設置した噴流型流動促進装置による流況と水質改善効果	黒 川 岳 司	北 真 人
多段型端面掘削方式を用いたモデル掘削機の実験	重 松 尚 久	北 岡 一 成
自然堆積粘土の水平方向の透水性に関する研究	森 脇 武 夫	佐 藤 友 彦
ディスクカッタービットを用いた硬質岩盤掘削機の開発について	重 松 尚 久	高 垣 夏 輝
ポリスチレン分解遺伝子のクローニングと機能解析に関する研究	及 川 栄 作	町 支 康 成

(建 築 系)

特 別 研 究 題 目	指 導 教 員	学 生 氏 名
昔ながらの住まい方による省エネルギー効果に関する研究	大 和 義 昭	大 山 哲 司
鉄筋コンクリート構造部材の耐震性能に関する実験的研究	寺 岡 勝	掛 悟 史
伝熱面積を考慮した投げ足位姿勢の人体形状モデルの作成	大 和 義 昭	小 池 勝 也
庭園の周辺景観の保全施策に関する研究 ー縮景園における周辺景観の保全施策の検討ー	篠 部 裕	角 田 博 由 起
マイアー時代のバウハウスにおける科学的分析を用いた建築空間化の過程	富 田 英 夫	廣 川 修 司
三次元レイヤーによるインテリア CAD に関する研究	篠 部 裕	山 下 朋 恵

○ 平成 22 年度技術センター技術発表会

技術センターでは、技術職員が取り組んできた教育・研究等の技術支援の成果などを報告する発表会を、平成 23 年 3 月 29 日（火）に専攻科棟 2 階講義室(1)で開催した。

発表テーマ及び講演者

「安定走行を実現した自走台車の製作」

技術専門員 大東由喜夫

「校内無線 LAN 環境整備について」

技術長 佐々木智大

「マインドストームを使用したロボット制御の基礎学習」

技術職員 深田 朋洋

行事日誌

○ 2 月行事日誌

- 9 日 学年末試験（17 日まで）
- 10 日 入学者選抜委員会
- 16 日 教務委員会
- 17 日 卒業前の指導
卒業寮生歓送夕食会
- 18 日 学生指導委員会
- 20 日 平成 23 年度入学者選抜学力検査
- 23 日 合格者判定会議
安全衛生委員会
- 25 日 入学者選抜合格者発表
終業式
- 31 日 呉工業高等専門学校永年勤続者表彰式及び
名誉教授称号授与式

○ 3 月行事日誌

- 1 日 閉寮
- 7 日 入試説明会
- 10 日 学年末休業（31 日まで）
学生指導委員会
寮務委員会
- 11 日 卒業・修了認定、進級判定会議
- 16 日 教務委員会
安全衛生委員会
- 18 日 卒業式・修了式
- 22 日 入学手続（23 日まで）
- 28 日 第 3 回協働研究センター委員会